

～縄文アーユルヴェーダ～

# 祈りと癒しの 薬草女神合宿

in ひびきの丘(北海道)

8/23(金)・24(土)・25(日)



シッダールタ村越悟  
インド政府公認  
アーユルヴェーダ医師  
マントラ指導師



澁谷るみ子  
インド政府公認  
アーユルヴェーダ医師  
鍼灸師



Asir Rera  
アイヌ活動家



西谷雅史  
響きの杜クリニック院長  
医学博士

- 日程：2泊3日/2024年8月23日（金）、24日（土）、25日（日）
- 場所：ひびきの丘 北海道石狩市厚田区聚富256番地8
- 催行人数：15名まで
- 料金：15万円 食事(7食) 宿泊費込み ※交通費は含まれません
- 主催：ひびきの丘 北海道統合医療協会

お申込みはこちら

ひびきの丘 北海道統合医療協会 事務局

URL:<https://forms.gle/k93Dpcb4g96Zg6q8>





## ～縄文アイヌとインダスアーユルヴェーダがここに響きあう～

はるか古代から調和して生きた、縄文とインダス文明の人々には多くの共通点があります。その流れを受け継ぐ「アイヌ」と、最古の医学である「アーユルヴェーダ」の伝統では、暮らしの中に薬草たちと共に生きた、祈りと癒しがあります。太古の薬草の智慧を、今、この時代に暮らしの中に再び蘇らせ、私たちの魂と響き合わせるその旋律で、一人一人の中に新しい時代を創造していきましょう。

### 縄文アイヌ



Asir Rera(新しい風)、日本名、山道康子、1946年、北海道・二風谷に生まれる。15歳の頃からアイヌ女性としてさまざまな活動を始める。二風谷ダムの建設中止を訴えシシムカ(沙流川)宙域の自然環境を開発から守るため、1979年に「沙流川を守る会」を仲間とともに設立。1989年より、毎年8月に「アイヌモシリ一万年祭」を主宰。二風谷の茅葺きのチセ(家)に集う人びととともに、アイヌの精神文化を大切にしながら共同生活を送っている。

### インダス・アーユルヴェーダ

澁谷 るみ子

インド政府公認アーユルヴェーダ医師、ヨーガ講師  
はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、インド(ヴェーダ)占星術師  
株式会社スヴァルナ・アーユルヴェーダ代表取締役  
一般社団法人アーユルヴェーダ生命科学研究所 代表理事

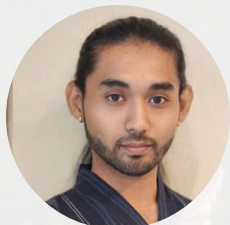


1994年より真理の探求に目覚め、聖者に会うために渡印を繰り返している時にアーユルヴェーダに出会う。2000年に有珠山が噴火した際、土石流により自宅と町が流されたことをきっかけに、インド国立アーユルヴェーダ医学大学に入学(2001～2008年)。卒業後、アーユルヴェーダを日本全国で教えはじめる。2012年に(株)スヴァルナ・アーユルヴェーダを立ち上げて、現在は、兵庫県但馬にある江戸時代の建造物である生家(国有形登録文化財)をアーユルヴェーダ・ラボとして、スクールや治療院を開催している。毎年1ヶ月のインド入院ツアーを主催し、浄化療法と若返り療法による難病治療に取り組んでいる。

シッダールタ村越悟

インド政府公認のアーユルヴェーダ医師  
ヴェーダマントラ指導師  
ヴァストゥ・シャストラコンサルタント

インド、日本、オーストラリア、アメリカなどで教養を受け、再びインドに戻りインド国立アーユルヴェーダ研究・教育機関(グジャラート・アーユルヴェーダ医学大学)でBAMSを修了。同大学在学中地元のサンスクリット教室で講師として勤務。武術に興味があり、空手では黒帯2段。ヒンディー語、日本語、英語を話す。



西谷雅史

響きの杜クリニック院長、医学博士、日本東洋医学会専門医、  
ひびきの丘代表理事、日本ホリスティック医学協会理事、  
響きの杜ネットワーク主宰、西野流呼吸法札幌同好会主宰、玄心流日本憲法師範  
著書「血流は静電気デトックスでよみがえる(宝島社)」

身体・心・環境、このすべてが響きあったときに人は真に健康に生きることができるという理念のもと、「響きあう医療」をおこなっている。

### 響きあう医療

